

令和3年度小城市補正予算(6月定例会)資料

・ 小城市一般会計・企業会計補正予算総括表	1
・ 小城市一般会計補正予算(第4号)	2
・ 小城市下水道事業会計補正予算(第1号)	3
・ 主な事業	4

令和3年度 小城市一般会計・企業会計補正予算総括表

◎ 一般会計

(単位:千円)

会 計 区 分	補正前の額	補正額	合 計	備 考
1 一般会計	21,085,974	1,685,946	22,771,920	

◎ 企業会計

(単位:千円)

会 計 区 分	補正前の額	補正額	合 計	備 考
1 下水道事業会計	3,745,196	△ 1,765	3,743,431	

議案第43号 小城市一般会計補正予算(第4号)

令和3年度 第4号補正後予算総額 22,771,920千円

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ16億8,594万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ227億7,192万円とするものです。

歳入の主なものは、各種事業に伴う国庫支出金、県支出金、繰入金、市債等を増額し、財源調整のため財政調整基金繰入金を計上するものです。

歳出の主なものは、「(仮称)小城フットボールセンター整備事業」、「庁舎防災機能強靱化事業」、「農業基盤整備促進事業」、「キャッシュレス決済推進事業」、「社会資本整備総合交付金事業(新設改良)」、「体育施設管理事業」などを計上するものです。

(単位:千円、%)

歳 入					歳 出				
款 別	補 正 前	補 正 額	合 計	構成比	款 別	補 正 前	補 正 額	合 計	構成比
市 税	4,228,386		4,228,386	18.6	議 会 費	209,898		209,898	0.9
地 方 譲 与 税	152,377		152,377	0.7	総 務 費	2,376,013	1,160,844	3,536,857	15.5
利 子 割 交 付 金	4,773		4,773	0.0	民 生 費	7,777,162	27,531	7,804,693	34.3
配 当 割 交 付 金	13,810		13,810	0.1	衛 生 費	2,317,616	6,162	2,323,778	10.2
株式等譲渡所得割交付金	15,126		15,126	0.1	労 働 費	10,180		10,180	0.1
法人事業税交付金	33,709		33,709	0.1	農林水産業費	1,023,291	27,798	1,051,089	4.6
地方消費税交付金	914,050		914,050	4.0	商 工 費	297,391	23,521	320,912	1.4
環境性能割交付金	11,851		11,851	0.1	土 木 費	1,648,070	29,519	1,677,589	7.4
地方特例交付金	43,395		43,395	0.2	消 防 費	814,647		814,647	3.6
地 方 交 付 税	6,690,489		6,690,489	29.4	教 育 費	1,983,059	394,723	2,377,782	10.4
交通安全対策特別交付金	8,500		8,500	0.0	災 害 復 旧 費	265,175	15,848	281,023	1.2
分担金及び負担金	143,843	2,690	146,533	0.6	公 債 費	2,333,471		2,333,471	10.3
使用料及び手数料	161,896	1	161,897	0.7	諸 支 出 金	1		1	0.0
国 庫 支 出 金	3,347,379	386,636	3,734,015	16.4	予 備 費	30,000		30,000	0.1
県 支 出 金	1,732,512	89,170	1,821,682	8.0					
財 産 収 入	32,182		32,182	0.1					
寄 附 金	1,344,400		1,344,400	5.9					
繰 入 金	589,270	377,711	966,981	4.2					
繰 越 金	100,000		100,000	0.4					
諸 収 入	342,926	11,138	354,064	1.6					
市 債	1,175,100	818,600	1,993,700	8.8					
合 計	21,085,974	1,685,946	22,771,920	100.0	合 計	21,085,974	1,685,946	22,771,920	100.0

※ 構成比は、端数処理の関係上、一致しない場合があります。

議案第44号 小城市下水道事業会計補正予算(第1号)

令和3年度 第1号補正後予算規模 3,743,431千円

資本的支出については、会計年度任用職員の採用に伴う、浄化槽の設計委託業務の減額により、資本的支出額を21億1,361万9千円とするものです。

(単位:千円、%)

収 益 的 収 支					資 本 的 収 支				
事 項	補 正 前	補 正 額	合 計	構成比	事 項	補 正 前	補 正 額	合 計	構成比
◇下水道事業収益	1,629,812	0	1,629,812	100.0	◇資本的収入	1,603,534	0	1,603,534	100.0
営業収益	289,345		289,345	17.8	企業債	631,000		631,000	39.4
営業外収益	1,340,467		1,340,467	82.2	他会計補助金	344,781		344,781	21.5
特別利益			0	0.0	国庫補助金	585,953		585,953	36.5
					県補助金	16,875		16,875	1.1
					負担金等	24,642		24,642	1.5
					その他資本的	283		283	0.0
◇下水道事業費用	1,576,317	0	1,576,317	100.0	◇資本的支出	2,115,384	△ 1,765	2,113,619	100.0
営業費用	1,357,629		1,357,629	86.1	建設改良費	1,455,200	△ 1,765	1,453,435	68.8
営業外費用	208,684		208,684	13.3	企業債償還金	660,184		660,184	31.2
特別損失	4		4	0.0	その他資本的支出			0	0.0
予備費	10,000		10,000	0.6					
差 引	53,495	0	53,495		差 引	△ 511,850	1,765	△ 510,085	

※ 構成比は、端数処理の関係上、一致しない場合があります。

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

[illegible]

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

牛津保健福祉センター及び牛津総合公園の周辺を再整備することで、エリア全体の価値向上と機能強化を図り、地域活性化を推進する健康・スポーツの拠点づくりを行う。

【内容】

牛津保健福祉センターの隣接地に人工芝2面のフットボールセンター及び駐車場等を整備する。

令和2年度	測量業務委託 設計業務委託
令和3年度	地質調査及び解析業務委託 整備予定地用地取得 設計支援業務委託 整備予定地造成工事 工事監理業務委託
令和4年度	グラウンド整備工事 付帯施設工事 調整池兼駐車場新設工事 工事監理業務委託

【事業費の負担割合】

国 1/2 市 1/2 (用地取得費等除く)

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金		11,000	100,268	299,045		
	県支出金						
	地方債		10,400	91,700	269,100		
	その他			110,000	107,000		
	一般財源		600	231,386	172,946		
	事業費	0	22,000	533,354	848,091	0	0

		総事業費 (単位:千円)	
（期間限定事業） 全体計画	財源内訳	国庫支出金	410,313
		県支出金	
		地方債	371,200
		その他	217,000
		一般財源	404,932
		事業費計	1,403,445

※令和3年度事業費は、令和2年度からの繰越額60,456千円を含む。

令和3年度 予算事業費 の内訳 (単位:千円)	役務費	委託料	公有財産 購入費					合 計
	650	2,167	270,000					272,817

令和3年度 予算事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
				110,000	162,817	272,817

☒ 新規事業 ☐ 既存事業

予算事業名	(新規)地方創生推進交付金（観光振興）事業					第二次 総合計画 体系	政策名	9	市民みんなが観光ガイド！ ひとがひとを呼ぶまち
担当部課	総務部 総合戦略課						施策名	2	観光の振興
予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 6	事業 1468		基本事業名	3	関係団体との連携
法令根拠	第2期まち・ひと・しごと創生小城市総合戦略、まち・ひと・しごと創生法								
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ↳（ 開始年度 年度 ～ ） ☒ 期間限定複数年度 ↳（ 令和3 年度 ～ 令和5 年度 ）								

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

観光客、観光消費額の減少や通年で人を呼べるコンテンツの不足、地域の担い手の不足等といった課題を解消し、観光人口、交流人口の増大を図る。

【内容】

リビングラボの手法を用い、新たなアクティビティとして導入を目指すサイクルツーリズムを実装する。また、観光客等に対し、適切に情報発信ができるよう、市内にある集客施設や観光資源等に移動式の情報発信拠点を設置する。

令和3年度 リビングラボの手法を用いた取り組み（ワークショップ等）

移動式情報発信拠点の構築

令和4年度 リビングラボの手法を用いた取り組み（ワークショップ等）

サイクルツーリズムの試行・検証

移動式情報発信拠点の運営開始

令和5年度 サイクルツーリズムの実装

移動式情報発信拠点の運営

【事業費の負担割合】

国 1/2 市 1/2

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	（期間限定事業） 全体計画	総 事 業 費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金			3,060	3,896	2,829			財源内訳	国庫支出金	9,785
	県支出金									県支出金	
	地方債									地方債	
	その他									その他	
	一般財源			3,060	3,897	2,830				一般財源	9,787
	事業費	0	0	6,120	7,793	5,659	0			事業費計	19,572

令和3年度 予算事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料	備品購入費						合 計
	5,820	300						6,120

令和3年度 予算事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	3,060				3,060	6,120

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

予算事業名	庁舎維持管理事業					第 二 次 総 合 計 画 体 系	政策名	行	計画推進のための行政経営
担当部課	総務部 財政課						施策名	4	業務執行体制の充実
予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 5	事業 75		基本事業名	2	公有財産の適正管理
法令根拠	労働安全衛生法、ビル管理法、電気事業法等								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ↳ (開始年度 平成17 年度 ～) ☐ 期間限定複数年度 ↳ (年度 ～ 年度)								

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

市民サービス業務を支障なく適切に執行できる庁舎の環境整備を行うとともに、来庁者が安全に利用できるように庁舎の維持管理を行う。

【内容】

- ・ 庁舎維持管理のための光熱水費、通信費の支払
- ・ 庁舎維持管理のための清掃業務、冷暖房保守点検、 機械警備業務等の委託
- ・ 庁舎建物及び設備の修繕
- ・ 庁舎及び出先機関の電話保守
- ・ 庁舎什器類備品購入

【補正内容】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、庁舎内の会議室等でオンライン会議を実施するための機器の整備

会議室等への大型液晶ディスプレイ購入 9台

【事業費の負担割合】

国（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金） 10/10

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	（期間限定事業） 全体計画	総事業費 (単位:千円)		
財源内訳	国庫支出金		866	2,382					財源内訳	国庫支出金	
	県支出金									県支出金	
	地方債									地方債	
	その他	8,321	6,777	7,992	6,000	6,000	6,000			その他	
	一般財源	35,273	36,266	36,987	31,652	31,652	35,252			一般財源	
事業費		43,594	43,909	47,361	37,652	37,652	41,252		事業費計		0

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	備品購入費							合 計
	2,382							2,382

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	2,382					2,382

☒ 新規事業 ☐ 既存事業

予算事業名	(新規) 庁舎防災機能強靱化事業						第二次 総合計画体系	政策名	10	ひとりひとりの力を合わせて防犯・防災安心して暮らせるまち
担当部課	総務部 財政課							施策名	1	防災・減災体制の充実
予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 5	事業 1467			基本事業名	3	危機管理対策の充実
法令根拠	災害対策基本法、強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法									
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ↳ (開始年度 年度 ～) ☐ 期間限定複数年度 ↳ (年度 ～ 年度)									

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

防災活動拠点である庁舎に業務継続性の確保(BCP)対策として、再生可能エネルギー発電設備等を設置することにより、非常用電源を確保して庁舎の強靱化を図るとともに、庁舎等の維持管理費の削減及び脱炭素化に取り組む。

【内容】

- ・実施設計及び工事監理業務
- ・太陽光発電設備(500kW)及び蓄電池設備(3,456kWh)設置工事
- ・省エネ設備(空調、LED照明)への更新工事
- ・三日月保健福祉センター「ゆめりあ」への自営線設備設置工事

【事業費の負担割合】

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金対象分 国 1/2 市 1/2

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金			297,995			
	県支出金						
	地方債			549,600			
	その他						
	一般財源			22,665			
	事業費	0	0	870,260	0	0	0

(期間限定事業) 全体計画		総事業費 (単位:千円)	
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源		
		事業費計	0

令和3年度 予算事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料	工事請負費					合 計
	33,000	837,260					870,260

令和3年度 予算事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	297,995		549,600		22,665	870,260

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

[illegible]

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

ICTを活用し、職員が効率かつ迅速に業務を遂行するためのネットワークの運用・管理及び施設予約などの情報提供による市民の利便性向上を図る。

【内容】

- ・情報系システムの保守管理
- ・光ケーブルの運用、管理及び公共ネットワークの運用
- ・テレワークシステム等の保守管理
- ・施設予約システムの運用管理
- ・佐賀県公共ネットワーク負担金支出

【補正内容】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、庁舎内の会議室等でオンライン会議を実施するための機器（Webカメラ付）の整備

会議室等へのインターネット用パソコンの購入 11台

【事業費の負担割合】

国（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金） 10/10

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金			3,366			
	県支出金						
	地方債						
	その他	120	1,342	58	58	58	58
	一般財源	55,799	57,616	62,082	59,532	60,072	64,282
	事業費	55,919	58,958	65,506	59,590	60,130	64,340

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	備品購入費							合 計
	3,366							3,366

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	3,366					3,366

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

[illegible]

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

農地・農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施し、農業競争力の強化を図る。

【内容】

補助事業を活用し、農業用排水路等の整備を行う。

- ・三日月東部第2地区(平成31年度～令和3年度)

道辺水路:3路線、堀江水路:1路線、島溝水路:1路線、総延長980.0mの整備

平成31年度 道辺水路1路線、島溝水路:1路線の実施設計業務委託

令和2年度 道辺水路:1路線 L=345.0mの整備

(平成31年度繰越)道辺水路:1路線 L=345.0m、島溝水路:1路線 L=150.0mの整備

道辺水路:2路線、堀江水路:1路線の実施設計業務委託

令和3年度 道辺水路:1路線 L=70.0m、堀江水路:1路線 L=70.0mの整備

- ・橋内地区(令和2年度～令和5年度)

下久須水路:4路線、牛尾水路:1路線、総延長740.0mの整備

令和3年度 (令和2年度繰越) 下久須水路:2路線の実施設計業務委託、2路線 L=261.0mの整備

令和4年度 下久須水路:1路線の実施設計業務委託、1路線 L=203.0mの整備

牛尾水路、下久須水路:2路線の実施設計業務委託

令和5年度 牛尾水路、下久須水路:2路線 L=276.0mの整備

【事業費の負担割合】

県(国) 三日月東部第2地区 50%、橋内地区 55%

受益者分扣金	5%
--------	----

市 県及び受益者分担金を除いた額

【補正内容】

三日月東部第2地区 道辺水路:1路線 L=70.0m、堀江水路:1路線 L=70.0mの整備

平成25年度農業基盤整備促進事業（暗渠排水工事）補助金の返還金

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金	44,361	66,771	41,665	22,000	25,850	30,000
	地方債			18,600			
	その他	3,692	7,246	6,416	2,000	2,350	3,000
	一般財源	41,341	56,746	15,922	16,000	18,800	27,000
	事業費	89,394	130,763	82,603	40,000	47,000	60,000

※令和3年度事業費は、令和2年度からの繰越額71,219千円を含む。

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	工事請負費	負担金、補助 及び交付金	償還金、利子 及び割引料					合 計
	9,000	47	985					10,032

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
		4,000		1,384	4,648	10,032

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

予算事業名	農地及び農業用施設災害復旧事業						第二次 総合計画 体系	政策名	7	地域の資源を活かし企業も市民も元気なまち
担当部課	産業部 農村整備課							施策名	1	農林業の振興
予算科目	会計一般	款11	項2	目1	事業235			基本事業名	1	農業基盤整備の推進と経営の安定強化
法令根拠	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ↳(開始年度 平成17 年度 ～) ↳(年度 ～ 年度)									

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

自然災害によって被災した農地(田・畑)及び農業用施設(道路、水路等)を復旧することで、農地及び農業用施設の維持を図り、農業経営の安定に寄与する。

【内容】

被災した農地及び農業用施設を原形復旧する。

当初予算 892千円

(令和2年度繰越) 47,344千円

令和2年7月豪雨及び9月豪雨で被災した農地や農業用施設の原形復旧工事

- ・補助対象災害復旧工事 6箇所(水路5箇所、道路1箇所)
- ・一般単独災害復旧工事 1箇所(道路1箇所)

【事業費の負担割合】

令和2年7月豪雨災害 農業用施設 県(国) 98.7% 市 1.3%

9月豪雨災害 農業用施設 県(国) 97.0% 市 3.0%

【補正内容】

西分地すべり対策施設（集水井）を設置した市有地の移管に伴う分筆測量登記業務委託料

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金	33,045	188,112	35,355			
	地方債	40,000	8,650	6,800			
	その他		1,257				
	一般財源	15,327	26,345	7,429	892	892	892
	事業費	88,372	224,364	49,584	892	892	892

※令和3年度事業費は、令和2年度からの繰越額47,344千円を含む。

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料							合 計
	1,348							1,348

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
					1,348	1,348

☒ 新規事業 ☐ 既存事業

予算事業名	(新規) キャッシュレス決済推進事業					第二次 総合計画 体系	政策名	7	地域の資源を活かし企業も 市民も元気なまち
担当部課	産業部 商工観光課						施策名	3	商工業の振興
予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 2	事業 1460		基本事業名	4	商店街の活性化
法令根拠									
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 								

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、支払い時に人と人との接触を極力減らすため、スマートフォン等を使った非接触の支払い手続きを推進するとともに、ポイントを還元することにより市内での消費活動を活性化する。

【内容】

市内の対象決済加盟店において、キャッシュレス決済（QRコード決済）で購入した者に対しポイントを還元する。

対象店舗：市内の小売業、飲食業、サービス業の対象決済加盟店
(大手チェーン・公共サービス・病院・調剤薬局・金券ショップは除く)

〈第1弾〉対象期間：令和3年10月1日～令和3年10月31日
還元率：10%
付与上限：1,000円/回 10,000円/月

〈第2弾〉 対象期間：令和3年12月1日～令和3年12月31日
還 元 率：15%
付与上限：1,000円/回 10,000円/月

【事業費の負担割合】

国（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金） 10/10

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金			18,990			
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						
	事業費	0	0	18,990	0	0	0

令和3年度 予算事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料							合 計
	18,990							18,990

令和3年度 予算事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	18,990					18,990

☒ 新規事業 ☐ 既存事業

[illegible]

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

新型コロナウイルス感染症拡大の中、少人数で分散型の旅行に対応できる市内タクシーを活用し、ドライバーの市内観光に係る知識を習得する機会を設け、観光案内事業者を育成することにより、観光の振興を図る。

【内容】

観光ボランティアガイドが実施する講座の受講及び観光タクシーの商品開発に対し助成金を交付する。

対象者：市内に本社を有し、一般乗用旅客自動車運送事業者の許可を受けている法人

助成額：ドライバー1名当たり10万円

【事業費の負担割合】

国（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金） 10/10

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金			2,200			
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						
事業費		0	0	2,200	0	0	0

令和3年度 予算事業費 の内訳 (単位:千円)	負担金、補助 及び交付金							合 計
	2,200							2,200

令和3年度 予算事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	2,200					2,200

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

予算事業名	社会資本整備総合交付金事業(新設改良)						第二次 総合計画 体系	政策名	2	安全にみんなが行き交うまち
担当部課	建設部 建設課							施策名	1	道路の保全と交通網の充実
予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3	事業 976			基本事業名	1	幹線道路の適切な維持管理
法令根拠	道路法、道路構造令、小城市市道の構造の技術的基準を定める条例									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ↳ (開始年度 平成25 年度 ～) ☐ 期間限定複数年度 ↳ (年度 ～ 年度)									

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

道路改良工事により一般車両、歩行者等の安全性と利便性を確保する。

【内容】

社会資本整備総合交付金を活用し、市道の整備を行う。

小城公園・本告線道路改良事業 《実施期間:平成31年度～令和4年度》

施工延長L=約90m 片側歩道(W=3.0m)の整備

平成31年度 測量・設計・積算、補償調査

令和2年度 測量・設計・採算、補償調査
用地買収(登記)、建物等補償

令和3年度 歩道設置工事

令和4年度 道路台帳修正

【事業費の負担割合】

令和3年度 国 57.2% 市 42.8%

※割合は補助率50%を基本として毎年度変動

【補正内容】

社会資本整備総合交付金の交付決定に伴う委託料及び工事請負費の増

本告・杉町線歩道設置事業 《実施期間:令和2年度～令和8年度》

施工延長L=500m 片側歩道(W=2.0m)の整備

令和3年度 詳細設計

令和4年度 用地測量

令和5年度 用地買収(登記)

令和6年度～令和7年度 歩道設置工事

令和8年度 道路台帳修正

初田・袴田線他1路線カラー舗装設置工事 L=870m

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	54,267	33,725	16,703	28,600	28,600	28,600
	県支出金						
	地方債	39,200	24,400	17,200	20,300	20,300	20,300
	その他			1,000			
	一般財源	1,983	5,825	1,487	1,100	1,100	1,100
	事業費	95,450	63,950	36,390	50,000	50,000	50,000

※令和3年度事業費は、令和2年度からの繰越額7,390千円を含む。

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料	工事請負費					合 計
	14,500	3,800					18,300

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	7,701		10,000		599	18,300

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

予算事業名	道路橋りょう災害復旧事業						第二次 総合計画 体系	政策名	2	安全にみんなが行き交うまち
担当部課	建設部 建設課							施策名	1	道路の保全と交通網の充実
予算科目	会計 一般	款 11	項 3	目 1	事業 418			基本事業名	1	幹線道路の適切な維持管理
法令根拠	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法、道路法、道路構造令、小城市市道の構造の技術的基準を定める条例									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ↳ (開始年度 平成17 年度 ～) ☐ 期間限定複数年度 ↳ (年度 ～ 年度)									

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

自然災害によって被災した道路を復旧し、道路の安全性確保を図る。

【内容】

被災した道路を原形復旧する。

当初予算 8,700千円

西分地区法面測量・設計業務 L=40m

西晴気地区里道災害復旧工事 L=30m

【補正内容】

高速道路接続線災害復旧工事の交通規制の変更に伴う工事請負費の増

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)	(期間 限定事業) 全体計画	総 事 業 費 (単位:千円)		
財 源 内 訳	国庫支出金								財 源 内 訳	国庫支出金	
	県支出金	10,113	23,126	13,126						県支出金	
	地方債	32,500	36,900	23,600						地方債	
	その他			3,300						その他	
	一般財源	2,087	1,549	29,089	500	500	500			一般財源	
事 業 費		44,700	61,575	69,115	500	500	500		事業費計	0	

※令和3年度事業費は、令和2年度からの繰越額45,915千円を含む。

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	工事請負費							合 計
	14,500							14,500

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
					14,500	14,500

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

予算事業名	牛津駅前広場整備事業						第二次 総合計画 体系	政策名	1	住みたい！と思う笑顔が集まるキレイなまち
担当部課	建設部 都市計画課							施策名	1	計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり
予算科目	会計一般	款8	項5	目1	事業1393			基本事業名	2	地域の特性を活かした拠点地区の形成と相互連携
法令根拠	都市再生特別措置法、小城市都市計画マスタープラン									
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ↳（開始年度 年度～） ☒ 期間限定複数年度 ↳（令和3 年度～令和5 年度）									

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

小城市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の中で示される牛津駅周辺の都市機能誘導区域を対象とした「牛津地域拠点地区 都市再生整備計画」に掲げる基幹事業として、賑わいの創出と交通利用者の利便性を高めるため、牛津地域拠点地区の交流拠点である牛津駅前広場を整備する。

【内容】

駅前広場の機能性向上を図る整備を行う。

令和3年度 測量及び実施設計
令和4年度～令和5年度 整備工事

※平成31年度当初予算主な事業からの変更内容

- ・事業名：牛津まちなかにぎわい広場整備事業 → 牛津駅前広場整備事業
- ・事業内容：赤れんが館周辺のまちなかにぎわい広場整備 → 牛津駅前広場整備
- ・事業期間：平成30年度～令和5年度 → 令和3年度～令和5年度
- ・総事業費：149,217千円 → 136,878千円

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金				32,000	31,500	
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			9,878	32,000	31,500	
	事業費	0	0	9,878	64,000	63,000	0

令和3年度 予算事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料							合 計
	9,878							9,878

令和3年度 予算事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
					9,878	9,878

☒ 新規事業 ☐ 既存事業

予算事業名	(新規) スマホなんでも相談事業						第二次 総合計画体系	政策名	4	みんなが健やかで生きがいを感じるまち
担当部課	教育委員会 生涯学習課							施策名	3	生涯学習の充実
予算科目	会計 一般	款 10	項 5	目 2	事業 1469			基本事業名	1	生涯学習環境・活動の充実
法令根拠										
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ↳ (開始年度 年度 ～) ☐ 期間限定複数年度 ↳ (年度 ～ 年度)									

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

コロナ禍での生活や意識の変化に伴い、対面でのコミュニケーションからスマートフォン等を活用したデジタル化が急速に進展しているため、高齢者のデジタルリテラシーを向上させることにより、安全・安心な世代間交流や地域間交流の活性化を図る。

【内容】

高齢者をはじめとする市民に対し、スマートフォン等の操作やLINE、Zoom等のアプリの利活用について、1対1できめ細かくサポートする。

対象者：スマートフォン等に関する疑問・悩みを持つ市民（全年齢層）
開催場所：ゆめぷらっと小城・ドゥイング三日月・牛津公民館・あしばる
開催回数：1日7コマ×12回（各町でそれぞれ月1回×3か月）
相談時間：1人当たり1時間
申込方法：電話による完全予約制

【事業費の負担割合】

国（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金） 10/10

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金			1,928			
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						
	事業費	0	0	1,928	0	0	0

令和3年度 予算事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料							合 計
	1,928							1,928

令和3年度 予算事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	1,928					1,928

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

予算事業名	体育施設管理事業					第二次 総合計画 体系	政策名	4	みんなが健やかで生きがいを感じるまち
担当部課	教育委員会 生涯学習課						施策名	1	健康づくりと生涯スポーツの充実
予算科目	会計 一般	款 10	項 6	目 2	事業 813		基本事業名	3	ライフステージに応じたスポーツの推進と施設の充実
法令根拠	スポーツ基本法、小城市体育館条例、小城市武道館条例、小城市運動公園条例								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ↳ (開始年度 平成17 年度 ～) ☐ 期間限定複数年度 ↳ (年度 ～ 年度)								

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

市内の体育施設において、市民が生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の充実を図る。

【内容】

市内8体育施設の管理運営を行う。

2024年国民スポーツ佐賀大会の競技会場として内定している芦刈文化体育館の大規模改修工事

(設備) 空調設備改修工事

(外部) 屋根・外壁劣化部改修工事

(内部) 直接仮設工事、特定天井改修工事、アリーナ床改修工事、アリーナ照明LED化更新改修工事

令和2年度 改修実施設計業務、改修実施設計監督員支援業務

令和3年度・令和4年度 改修工事、改修工事監理業務、改修工事監督員支援業務

※令和2年度当初予算主な事業からの変更内容

事業期間：令和2年度・令和3年度 → 令和2年度～令和4年度

【補正内容】

①芦刈文化体育館の大規模改修工事

- ・ 芦刈文化体育館改修(建築主体)(電気設備)(機械設備)工事
- ・ 芦刈文化体育館改修工事設計単価打替業務
- ・ 芦刈文化体育館改修工事監理業務
- ・ 芦刈文化体育館改修工事監督員支援業務

②牛津運動公園外トイレ増設及び改修工事、芦刈運動公園外トイレ改修工事

【事業費の負担割合】

①国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会競技施設整備費補助金対象分 県 1/2 市 1/2

②国（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金） 10/10

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金			10,226	8,405		
	県支出金		714	72,698			
	地方債		7,000	265,800	219,400		
	その他	514	87	1,001	1	1	1
	一般財源	44,631	52,885	74,502	69,450	44,499	44,499
	事業費	45,145	60,686	424,227	297,256	44,500	44,500

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	委託料	工事請負費						合 計
	8,312	363,736						372,048

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
	10,226	72,698	259,000		30,124	372,048

☐ 新規事業 ☒ 既存事業

予算事業名	屋根のない博物館事業					第二次 総合計画 体系	政策名	3	歴史、文化と歩んでいく自然豊かなまち
担当部課	教育委員会 文化課						施策名	2	歴史の継承、文化・芸術の振興
予算科目	会計 一般	款 10	項 5	目 5	事業 1165		基本事業名	1	歴史、文化・芸術に関する情報の提供と施設の活用
法令根拠									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ↳ (開始年度 平成18 年度 ～) ☐ 期間限定複数年度 ↳ (年度 ～ 年度)								

事業の概要(目的、内容等)

【目的】

小城市全域を博物館とみなし、市内各所にある文化財の掘り起こしや一体的な修復整備・活用を図る。

【内容】

文化財説明板の設置、土生遺跡公園まつり・文化財ウォーキング・小城市内遺跡発掘調査成果展の開催などを行う。

令和3年度 土生遺跡発見50周年記念特別展の開催

令和4年度 土生遺跡史跡指定50周年記念プレ展示会

令和5年度 土生遺跡史跡指定50周年記念シンポジウム及び展示会の開催

【補正内容】

土生遺跡発見50周年記念特別展の図録、チラシ及びパネル作成に係る印刷製本費並びにチラシ発送に係る通信運搬費の増

事業費の推移 (単位:千円)		H31年度 (決算)	R2年度 (決算見込み)	R3年度 (計画)	R4年度 (計画)	R5年度 (計画)	R6年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他				200	400	
	一般財源	1,040	662	1,461	890	1,090	690
	事業費	1,040	662	1,461	1,090	1,490	690

令和3年度 補正事業費 の内訳 (単位:千円)	需用費	役務費						合 計
	721	50						771

令和3年度 補正事業費 の財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合 計
					771	771